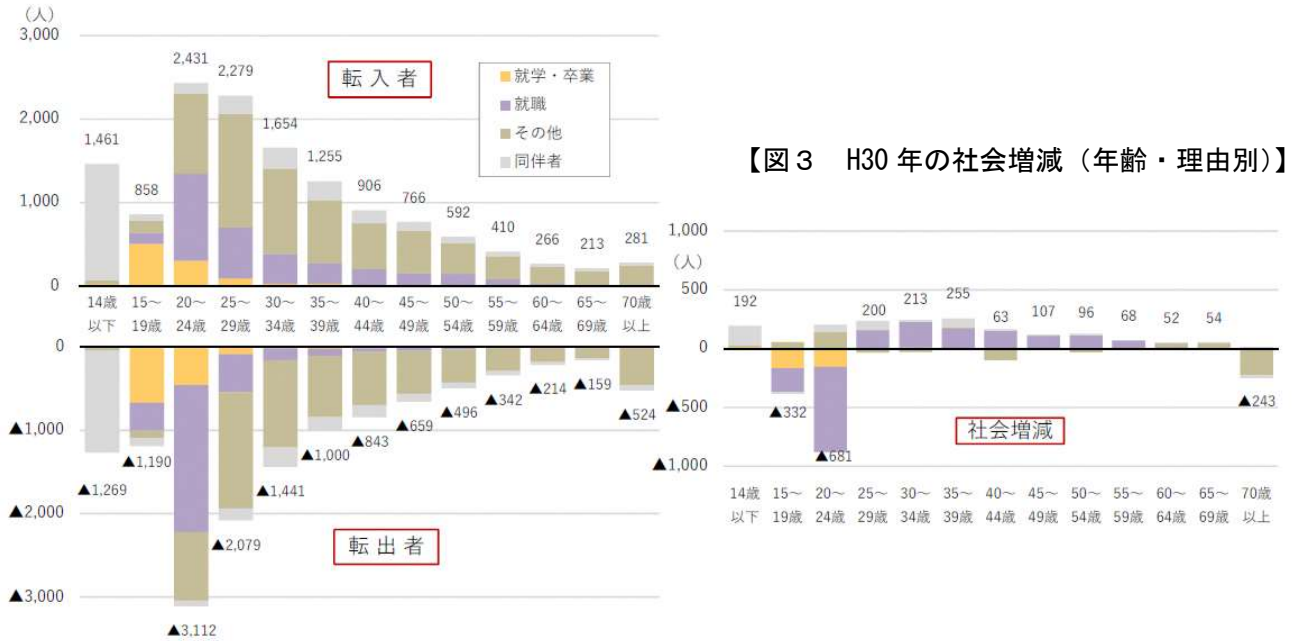


子ども・子育てをめぐる課題の動向

1 社会増減の状況

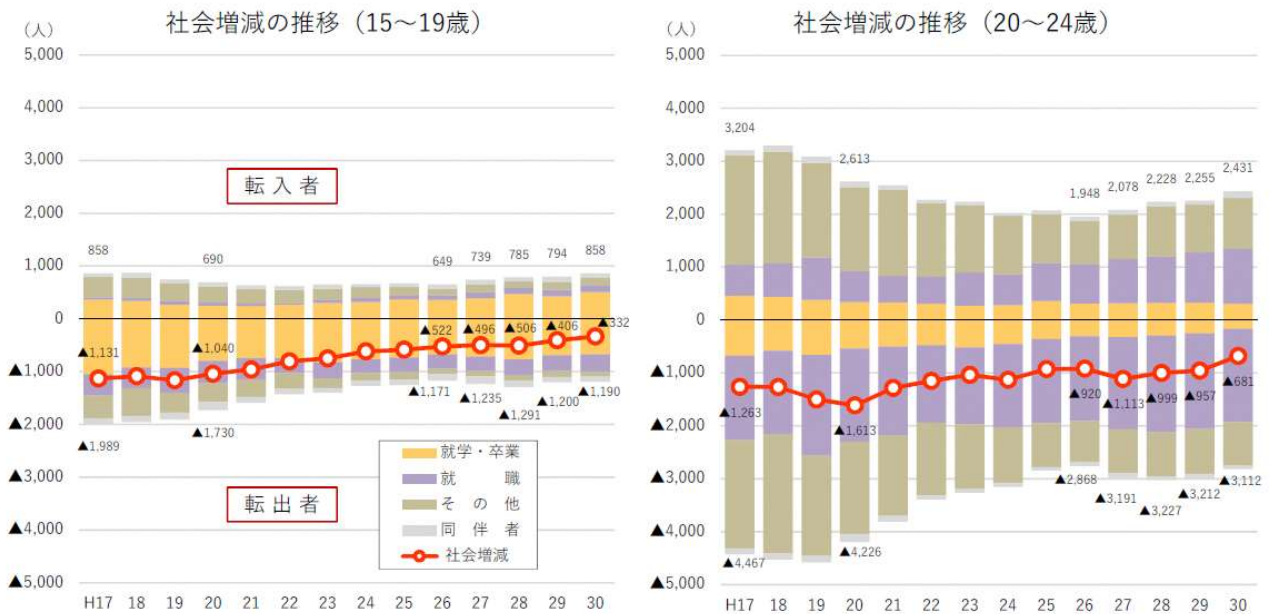
人口の社会減は、15～24歳の若者の進学・就職による転出が主な要因となっている。



資料：島根県統計調査課「島根県人口移動調査」

15～19歳、20～24歳の社会減については、平成26年は1,500人程度だったものが、近年は1,000人程度と減少傾向にある。

【図4 社会増減の推移（15～19歳、20～24歳）】

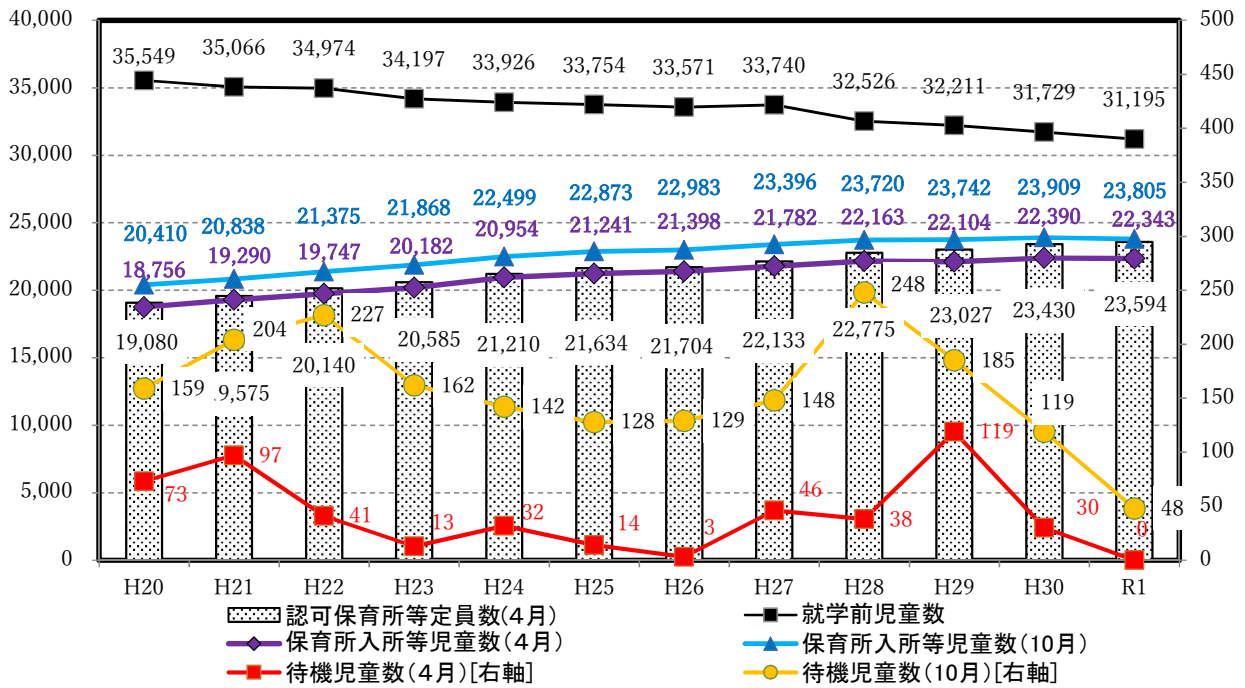


資料：島根県統計調査課「島根県人口移動調査」

2 待機児童の状況

保育所の施設数・定員数は増加しているが、保育ニーズの増加により、都市部を中心に待機児童が発生している。

【図5 保育所の入所児童数、施設数及び待機児童数の推移（島根県）】

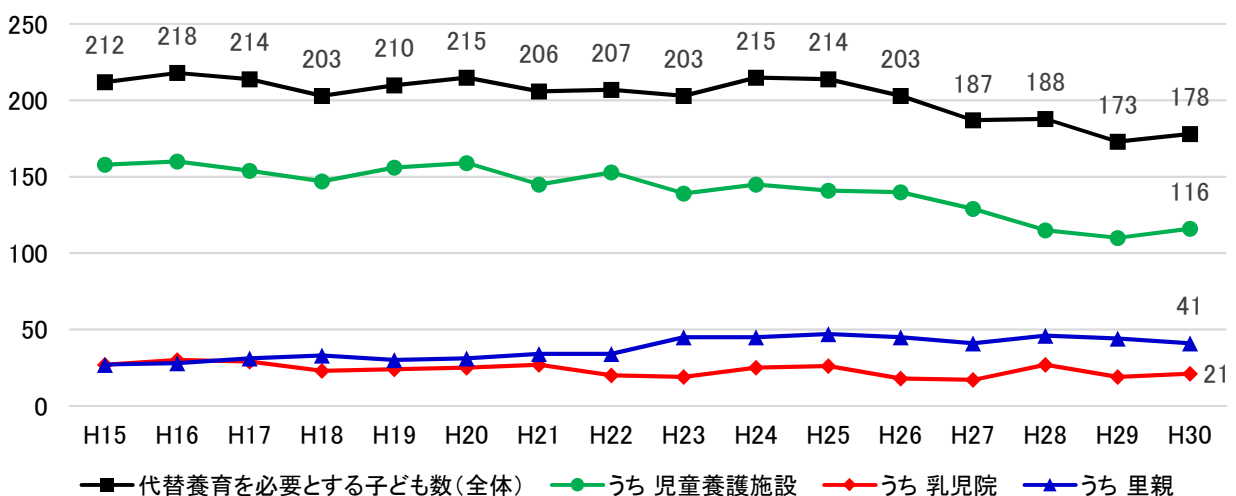


資料：島根県子ども・子育て支援課調べ

3 代替養育を必要とする児童数の推移

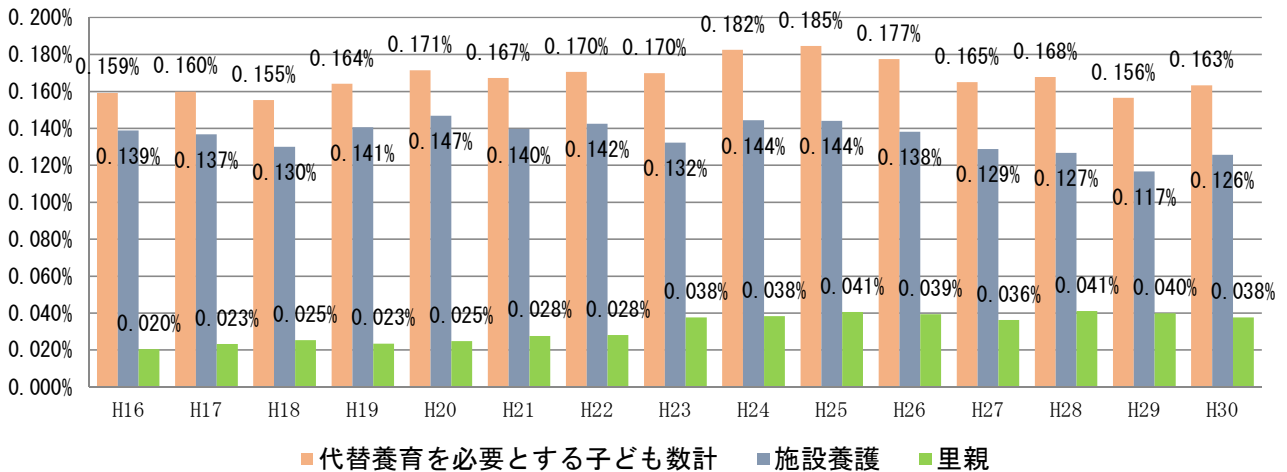
島根県内の代替養育（児童養護施設、乳児院及び里親による養育）を必要とする児童は、平成25年度までは横ばいで推移していましたが、近年は減少傾向にあります。

【図6 代替養育を必要とする子どもの数の推移（島根県）（再掲）】



資料：島根県青少年家庭課調べ

【図7 代替養育を必要とする子どもの出現率（島根県）】

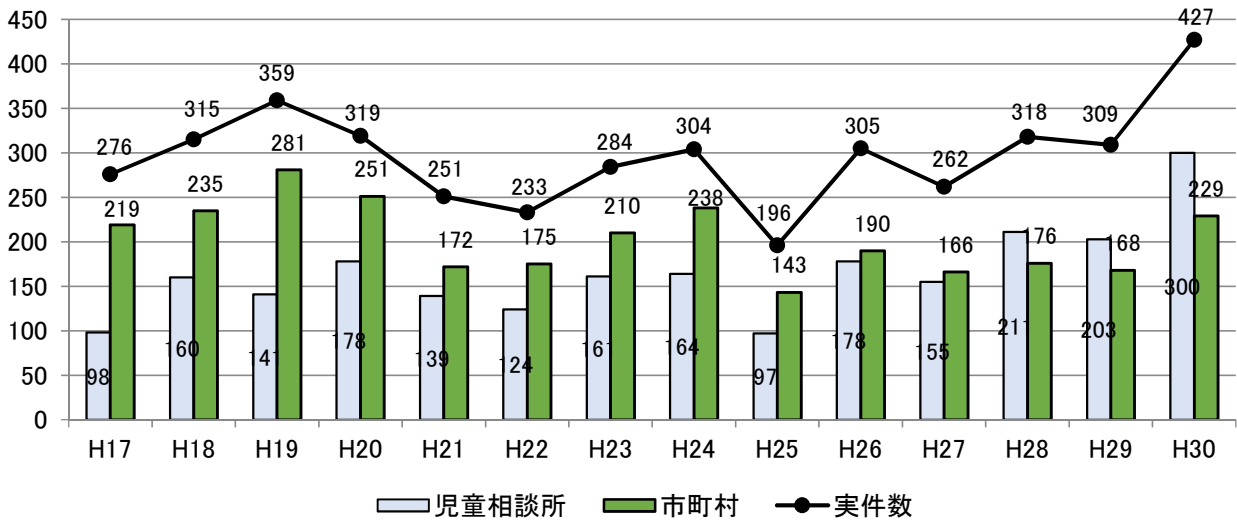


資料：島根県青少年家庭課調べ

4 児童虐待の状況

島根県内の児童虐待相談（認定件数）は増減を繰り返しているものの、依然として高い数値で推移するとともに、平成30年度は児童虐待に対する社会的意識の高まり、関係機関との連携強化等により大幅に増加している。

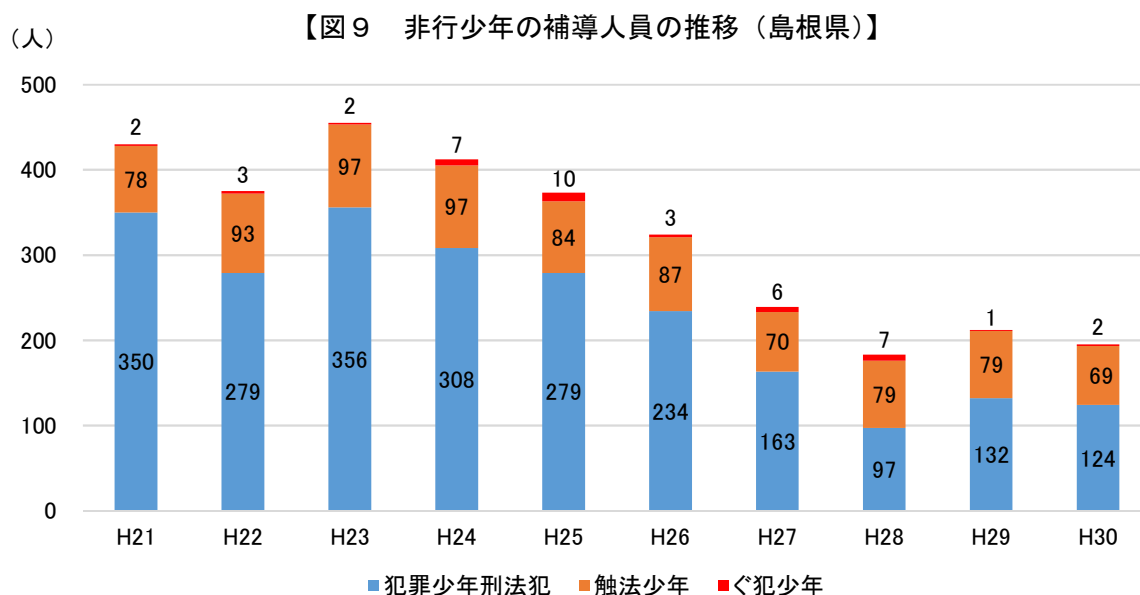
【図8 児童虐待相談（認定件数）の推移（島根県）】



資料：島根県青少年家庭課調べ

5 少年非行の状況

県内の非行少年の補導人員は、この10年間で半減したが、近年は横ばい傾向を示している。



資料：島根県警察「少年補導のあゆみ」（平成30年度版）

- 犯罪少年刑法犯・・・ 罪を犯した14歳以上20歳未満の少年
- 触法少年・・・・・・・・ 刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年
- ぐ犯少年・・・・・・・・ 保護者の正当な監督に服しない性癖があるなど一定の事由があつて、その性格又は環境に照らして、将来罪を犯し、又は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年